

科目名	環境都市工学演習（1a）	科目コード	51350
-----	--------------	-------	-------

学科名・学年	環境都市工学科・3年
担当教員	田中 一浩（環境都市工学科）
区分・単位数	履修単位科目・必履修・1単位
開講時期・時間数	後期，30時間【内訳：講義30】
教科書	
補助教材	自作教材（配付資料）
参考書	

【A．科目の概要と関連性】

環境都市工学が関与する施設（建設中の施設を含む）や展示の見学をおこない，環境都市工学の実際と社会的な役割について学ぶ。

【B．到達目標と学習・教育目標との対応】

この科目は長岡高専の学習・教育目標の(C)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と，成績評価上の重み付け，各到達目標と長岡高専の学習・教育目標との関連を以下の表に示す。

到達目標	評価の重み	学習・教育目標との関連
環境都市工学の社会的な役割を理解する。	35%	c2
土木系公共施設の構造的，材料的な特徴を理解する。	35%	c2
土木系公共施設の施工方法を理解する	30%	c2

【C．履修上の注意】

どのような技術の分野でも，実物を見たり，実物に触れて考えることが不可欠だが，環境都市工学の「作品」のなかで，校内で実物に接することができるものは限られている。

この授業は，そのような状況を克服するために設けられたものであり，環境都市工学の実際に触れるための機会を提供する。

見学（とくに工事現場での見学）にさいしては，安全や礼儀に配慮した衣類を着用し，靴を履くこと。

【D．評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する．50 点以上を合格とする．

定期試験（0%）

その他の試験（0%）

レポート（100%）

その他（0%）

【E . 授業計画・内容】

後期

回	内容	備考
1	授業案内	
2	見学（1回目）のための事前説明	
3	見学（1回目）	第4回と合わせて半日（2回分）の活動
4		
5	見学レポート作成	
6	レポート作成法（講義と演習）	
7	見学レポートの改訂	
8	見学（2回目）のための事前説明	試験時間：50分
9	事前学習（関連情報の収集）	
10	事前学習（レポートの作成）	
11	見学（2回目）	第12回と合わせて半日（2回分）の活動
12		
13	見学レポート作成	
14	見学レポートの改訂	
-	前期末試験	試験期間のため休講
15	授業のまとめ	